

## 単元名 マット運動

授業者:2組 担任 杉田哲男

使用アプリ

**本時の「評価規準」【思考力・判断力・表現力】**

できる技を組み合わせた「連続技」がスムーズにつながるための課題を見つける

学習展開	アナログとデジタルの活用
1. 準備体操・ウォームアップ ・準備体操をし、体をあたためる。  2. 道具の準備 ・マット等の設置を全員で行う。	
3. 課題の把握 ・「連続技」について確認する。 ・ただ技を出し続けるのではなく、スムーズにつなげることを意識させる。  4. 連続技を確認する ・これまで学習してきた「きれいにできる」または「まあまあできる」技をjamboard上で組み合わせる。  5. 連続技を練習する ・考えた連続技をやってみる。 ・組み合わせる技をかえてみる。 ・同じグループでビデオをとり、スムーズかどうかを確認し合う。 ・撮影した動画をみて、スムーズにつながるためにどうするとよいか考える。 ・見つけた課題をもとに練習する。	<b>【評価B基準】</b> ・連続技を完成させるために、技と技をどのようにつなげるのか考えることができる。  <b>【手立て】</b> <b>【連続技を考える】</b> ・jamboardの付箋を用いて、技を組み合わせる。 ・組み合わせを変えて自分にできる連続技を見つける。 <b>【スムーズにつなげる】</b> ・友達が撮影してくれた動画をみることで、技と技をつなげる技、姿勢、動作に注目する。 ・動画を繰り返し視聴することで課題を見つける。
6. ふりかえり ・見つけた課題をフォームにまとめる。 ・発表会に向けて次回の練習の見通しをたてる。	

**「振り返り」の工夫**

ふりかえりは、選択肢と記述欄を併用する。記述に気付きを書き残し、次回の練習に活かせるようにする。また、記述に時間がかかる児童は選択肢を用いることで、本時の気付きが簡単に言語化できるようにする。

授業者より(実践してみて)